



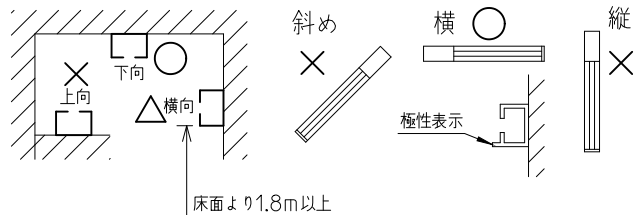
安全に関するご注意・・・下記内容をお守りください。不備があると、火災・感電・落下の原因となります。施工前に・・・取付工事は、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店に依頼してください。

警告

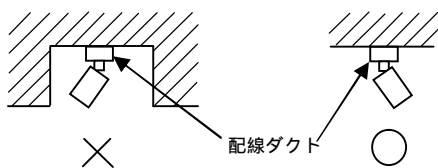
ダクト・ジョイナー・フィードインボックス等は、各々の施工方法に従ってください。不備があると、火災・感電・落下の原因になります。
一般屋内用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
ジョイナーやフィードインボックスの電気接続は、確実に行ってください。不完全接続の場合、火災の原因となります。商品を改造しないでください。火災・感電・落下の原因になります。

注意

周囲温度が 5 ~ 35 の範囲で使用してください。また、急激な温度変化で結露が生じる恐れのある場所では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
天井直付・壁面取付兼用です。上向きには取付けしないでください。壁面及び傾斜天井に取付ける場合は、人が容易に触れる恐れのない場所（床面より 1.8m 以上の場所）で、なおかつ配線ダクトを必ず横向きにし、極性表示が下になるように取付けてください。
縦向きには取付けしないでください。指定以外の取付けは火災・感電・落下の原因となります。
壁面及び傾斜天井に取付ける場合は、ダクトレールカバー（別売）を必ずご使用ください。ダクトレールカバー無しの施工は、埃の侵入による火災の原因となります。
器具取付部に指や指定以外の金属物を挿入しないでください。感電・短絡の原因となります。
照明器具からの輻射熱により配線ダクトが加熱されますので、配線ダクトの温度が 65 以下になるようにしてください。火災・感電・落下の原因となります。

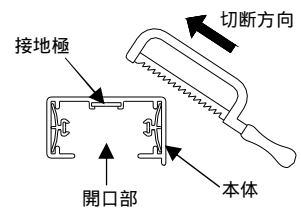


照明器具が埋込状態となる様な施工はお避けください。火災の原因となります。



終端部には、必ずエンドキャップを取付けてください。不備があると、感電の原因となります。

ダクトの切断は、金のか（手のか）を使用し、開口部を下向きにして切断してください。電動工具を使用しますと、火災や感電の原因となります。切断部のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。火災や感電の原因となります。切断時に接地極の浮き上がりが発生した場合、修正して使用してください。不備があると火災や感電の原因となります。



仕様

天井直付壁面取付兼用

		1m	2m	3m
ダクトのみ (アース付)	オフホワイト	DP-53804	DP-53805	DP-53806
	黒	DP-53807	DP-53808	DP-53809
	シルバー	DP-53810	DP-53811	DP-53812
ダクトのみ (アース無)	オフホワイト	L-7063	L-7064	L-7065
	黒	L-7029	L-7030	L-7031
	シルバー	L-7006	L-7007	L-7008
フィードインボックス + エンドキャップ付 (アース無)	オフホワイト	L-7060	L-7061	L-7062
	白	DP-35826	DP-35827	DP-35828
	黒	L-7026	L-7027	L-7028
	シルバー	L-7000	L-7001	L-7002
ダクトレール カバー	オフホワイト	DP-54251	-	-
	黒	DP-54252	-	-
	グレー	DP-54253	-	-

連結部品（天井直付壁面取付兼用型用）

	オフホワイト	黒	グレー
フィードインボックス	L-7072	L-7046	L-7016
エンドキャップ	L-7073	L-7047	L-7017
連結用ジョイナー	L-7074	L-7048	L-7014
L形ジョイナー	L-7075	L-7049	L-7019
T形ジョイナー	右用	L-7076	L-7050
	左用	L-7077	L-7051
+形ジョイナー	L-7078	L-7052	L-7022
カップリング形ジョイナー	L-7079	L-7053	L-7023

商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問合せ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは右記の相談窓口までご連絡ください。

相談窓口	商品についてのご相談	修理・アフターサービス (ダイコーエンジニアリング株式会社)
	本社 TEL(06)6222-6240(代)	TEL(06)6731-1286

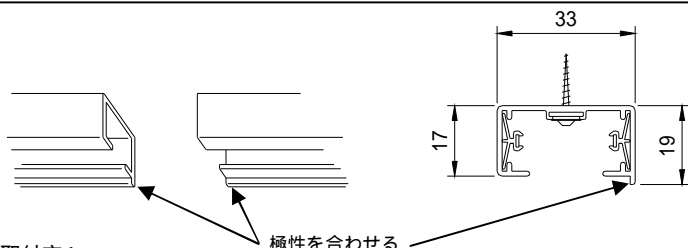
配線ダクト

施工前の確認

照明器具等の重さに耐えるよう取付面を補強してください。

不備があると、落下の原因になります。

接続する場合は、極性を合わせてください。

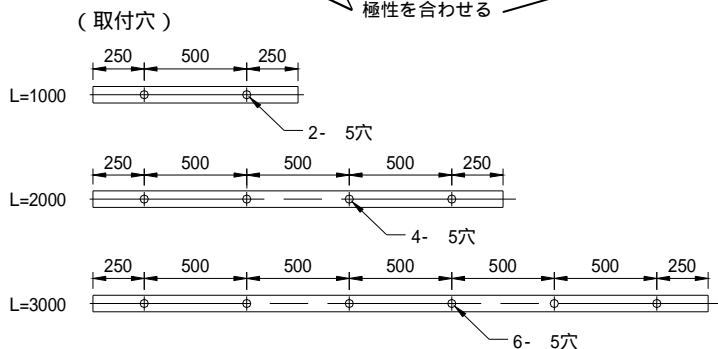


ダクトの取付方法

付属の木ネジを使用してください。

取付穴は全数使用してください。

不備があると落下の原因になります。



フィードインボックス

ダクトとの接続

フィードインボックスをダクトに接続し、セットネジを確実に締めつけてください。

電源の接続

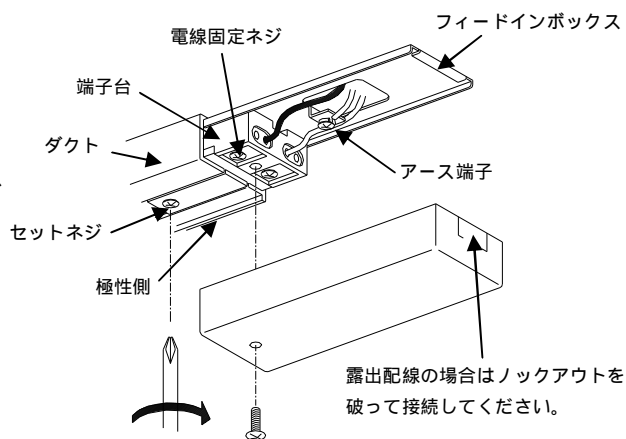
ストリップゲージ（1.5mm）に合わせて電線を段むきした後、端子台に差込み、固定ネジで確実に締めつけてください。

ご注意

電源の接続はダクトの極性側（凸部側）を必ず接地側としてください。

電線は1.6mmまたは2mmの単線をご使用ください。

アースを接続する際は3芯ケーブルを使用し、1芯をアース端子に巻き締め接続してください。



各種ジョイナー

ダクトとの接続

ダクトの極性側（凸部側）を図のような方向に合わせてから最後まで確実に接続してください。接続後、必ずセットネジを確実に締め付けてください。

接続のみの場合はカバーをはずす必要はありません。

電源の接続

ラインの中間から給電を行う場合は、フィードインボックスと同様に行ってください。その際、ダクトの極性側（凸部側）及びジョイナーの極性側（白線側）を必ず接地側としてください。

ご注意

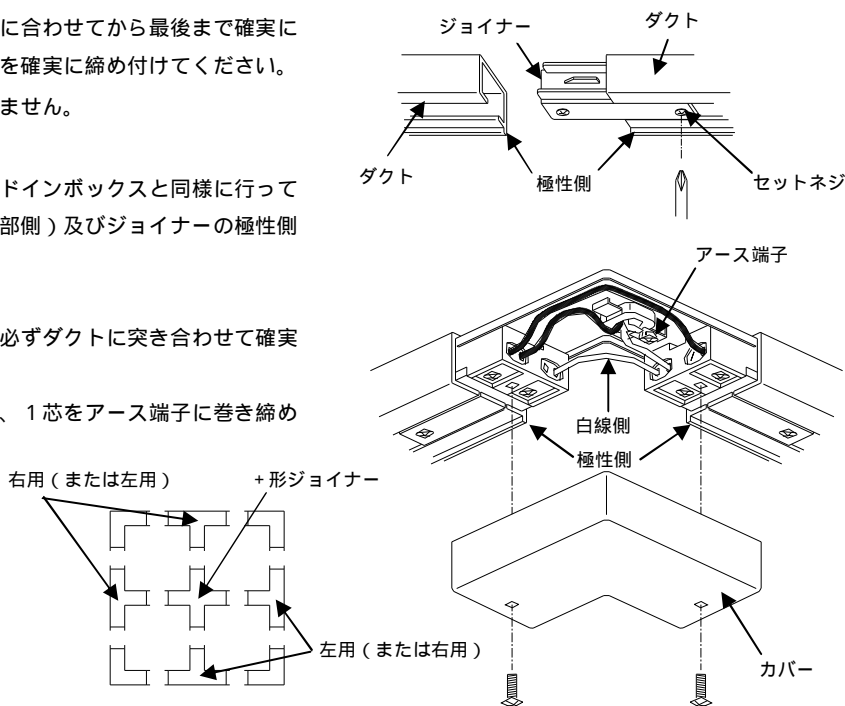
連結用ジョイナーとダクトとの接続の際は、必ずダクトに突き合わせて確実に接続してください。

アースを接続する際は3芯ケーブルを使用し、1芯をアース端子に巻き締め接続してください。

T形ジョイナーの使用方法

T形ジョイナーには右用と左用があります。向き合ったT形ジョイナーは必ず右用と左用を対で使います。

+形ジョイナーの向きによっては右用と左用の位置が変わる事がありますが極性を合わせて接続していくと必然的に位置が決まります。





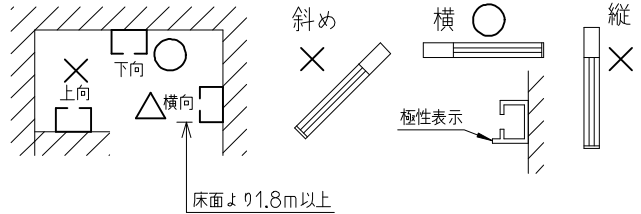
- 安全に関するご注意・・・下記内容をお守りください。不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 施工前に・・・取付工事は、電気工事士の資格が必要です。必ず工事店に依頼してください。

警告

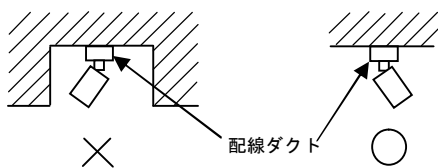
- ダクト・ジョイナー・フィードインボックス等は、各々の施工方法に従ってください。不備があると、火災・感電・落下の原因になります。
- 一般屋内用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- ジョイナーやフィードインボックスの電気接続は、確実に行ってください。不完全接続の場合、火災の原因となります。
- 商品を改造しないでください。火災・感電・落下の原因になります。

注意

- 周囲温度が 5℃～35℃ の範囲で使用してください。また、急激な温度変化で結露が生じる恐れのある場所では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- 天井直付・壁面取付兼用です。上向きには取付けしないでください。壁面及び傾斜天井に取付ける場合は、人が容易に触れる恐れのない場所（床面より 1.8m 以上の場所）で、なおかつ配線ダクトを必ず横向きにし、極性表示が下になるように取付けてください。縦向きには取付けしないでください。指定以外の取付けは火災・感電・落下の原因となります。
- 壁面及び傾斜天井に取付ける場合は、ダクトレールカバー（別売）を必ずご使用ください。ダクトレールカバー無し施工は、埃の侵入による火災の原因となります。
- 器具取付部に指や指定以外の金属物を挿入しないでください。感電・短絡の原因となります。
- 照明器具からの輻射熱により配線ダクトが加熱されますので、配線ダクトの温度が 65℃ 以下になるようにしてください。火災・感電・落下の原因となります。

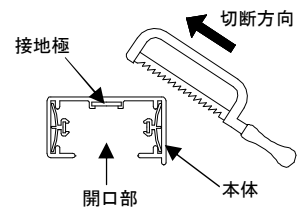


- 照明器具が埋込状態となる様な施工はお避けください。火災の原因となります。



- 末端部には、必ずエンドキャップを取付けてください。不備があると、感電の原因となります。

- ダクトの切断は、金のか（手のこ）を使用し、開口部を下向きにして切断してください。電動工具を使用しますと、火災や感電の原因となります。
- 切断部のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。火災や感電の原因となります。



- 切断時に接地極の浮き上がりが発生した場合、修正して使用してください。不備があると火災や感電の原因となります。

仕様

天井直付壁面取付兼用

		1m	2m	3m
ダクトのみ (アース付)	オフホワイト	DP-53804	DP-53805	DP-53806
	ブラック	DP-53807	DP-53808	DP-53809
	シルバー	DP-53810	DP-53811	DP-53812
ダクトのみ (アース無)	オフホワイト	L-7063	L-7064	L-7065
	ホワイト	L-7063E	L-7064E	L-7065E
	ブラック	L-7029	L-7030	L-7031
	シルバー	L-7006	L-7007	L-7008
フィードインボックス + エンドキャップ付 (アース無)	ホワイト	DP-36482	DP-36483	DP-36484
ダクトレール カバー	オフホワイト	DP-54251	-	-
	ホワイト	DP-54251E	-	-
	ブラック	DP-54252	-	-
	グレー	DP-54253	-	-

連結部品（天井直付壁面取付兼用型用）

		ホワイト	ブラック	グレー
フィードインボックス		DP-36317	DP-36318	DP-36319
エンドキャップ		DP-36320	DP-36321	DP-36322
連結用ジョイナー		DP-36323	DP-36324	DP-36325
L形ジョイナー	右用	DP-36326	DP-36327	DP-36328
	左用	DP-36485	DP-36486	DP-36487
T形ジョイナー	右用	DP-36329	DP-36330	DP-36331
	左用	DP-36332	DP-36333	DP-36334
+形ジョイナー		DP-36335	DP-36336	DP-36337
カップリング形ジョイナー		DP-36338	DP-36339	DP-36340

商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問合せ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは右記の相談窓口までご連絡ください。

相談窓口	商品についてのご相談	修理・アフターサービス (ダイコーエンジニアリング株式会社)
	本社 TEL (06) 6222-6240 (代)	TEL (06) 6731-1286

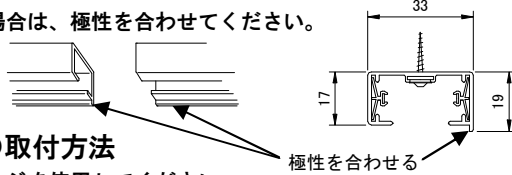
※電話番号は変更になることがありますので、予めご了承ください。(平成 19 年 8 月 1 日現在)

取付方法

配線ダクト

■施工前の確認

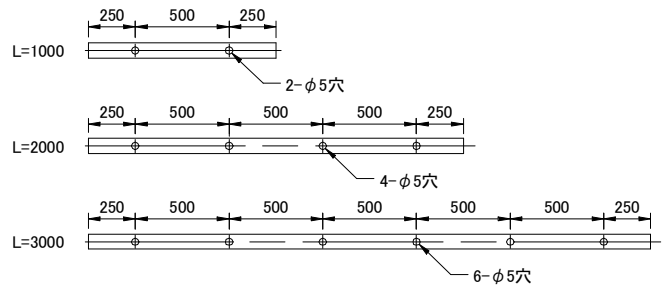
- 照明器具等の重さに耐えるよう取付面を補強してください。不備があると、落下の原因になります。
- 接続する場合は、極性を合わせてください。



■ダクトの取付方法

- 付属の木ネジを使用してください。
- 取付穴は全数使用してください。
- 不備があると落下の原因になります。

(取付穴)



フィードインボックス

■ダクトとの接続

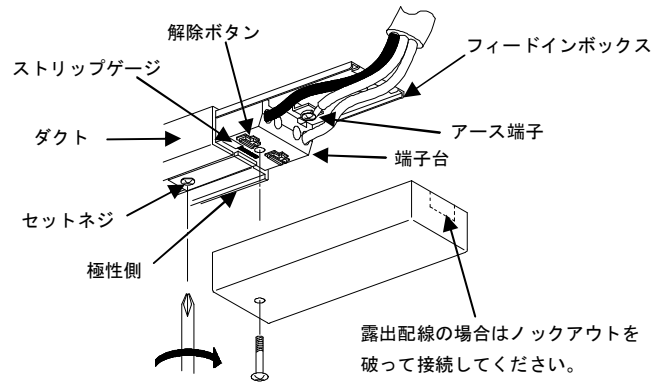
- フィードインボックスをダクトに接続し、セットネジを確実に締めつけてください。

■電源の接続

- ストリップゲージ (1.2mm) に合わせて電線を段むきした後、端子台に奥まで確実に差込んでください。

■ご注意

- 電源の接続はダクトの極性側 (凸部側) を必ず接地側としてください。
- 電線は 1.6mm または 2mm の単線をご使用ください。
- アースを接続する際は 3芯ケーブルを使用し、1芯をアース端子に巻き締め接続してください。



各種ジョイナー

■ダクトとの接続

- ダクトの極性側 (凸部側) を図のような方向に合わせてから最後まで確実に接続してください。接続後、必ずセットネジを確実に締めつけてください。
- 接続のみの場合はカバーをはずす必要はありません。

■電源の接続

- ラインの中間から給電を行う場合は、フィードインボックスと同様に行ってください。その際、ダクトの極性側 (凸部側) 及びジョイナーの極性側 (白線側) を必ず接地側としてください。

■ご注意

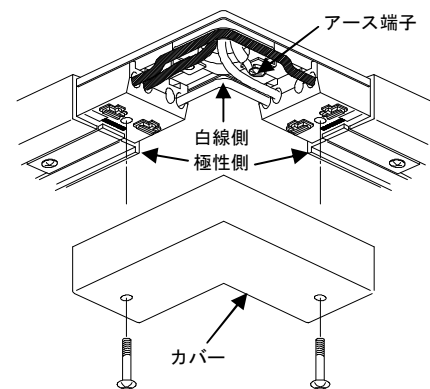
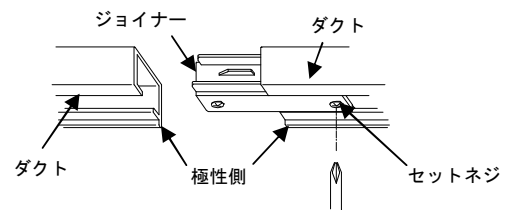
- 連結用ジョイナーとダクトとの接続の際は、必ずダクトに突き合わせて確実に接続してください。
- アースを接続する際は 3芯ケーブルを使用し、1芯をアース端子に巻き締め接続してください。

■T形ジョイナーの使用方法

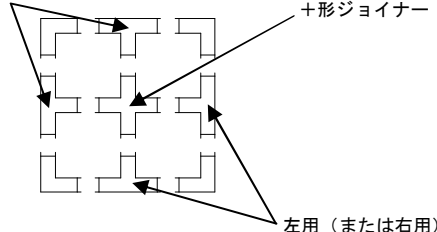
- T形ジョイナーには右用と左用があります。向き合ったT形ジョイナーは必ず右用と左用を対で使います。
- +形ジョイナーの向きによっては右用と左用の位置が変わる事がありますが極性を合わせて接続していくと必然的に位置が決まります。

■L形ジョイナーの使用方法

- L形ジョイナーには右用と左用があります。
- 田の字に連結する場合は、必ず同じ種類のジョイナーを使用してください。
- 8の字に連結する場合は、必ず右用と左用を対で使います。
- 口の字に連結する場合は、必ず同じ種類のジョイナーを使用してください。
- +形ジョイナーの向きによっては右用と左用の位置が変わる事がありますが極性を合わせて接続していくと必然的に位置が決まります。



右用 (または左用)



右用 (または左用)

